



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月13日

東

上場会社名 株式会社Laboro.AI

上場取引所

コード番号 5586

URL <https://laboro.ai/>

代表者(役職名) 代表取締役CEO

(氏名) 椎橋徹夫

問合せ先責任者(役職名) 執行役員CFO

(氏名) 谷山太郎

(TEL) 03-6280-6564

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	1,911	38.8	245	85.7	249	93.8	176	150.0
2025年9月期第3四半期	1,376	—	132	—	128	—	70	—

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 176百万円(150.0%) 2025年9月期第3四半期 70百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	11.05	10.89
2025年9月期第3四半期	4.43	4.35

(注) 2025年9月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、2025年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	3,023	2,734	90.4
2025年9月期	2,813	2,547	90.6

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 2,734百万円 2025年9月期 2,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,578	35.7	380	98.6	384	131.2	268	83.0	16.85

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 連結業績予想の修正については、本日(2026年8月13日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期3Q	15,948,051株	2025年9月期	15,918,577株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	38株	2025年9月期	38株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年9月期3Q	15,939,063株	2025年9月期3Q	15,900,073株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について)

当社は、2026年8月17日(月)に機関投資家及びアナリスト向けに開催する予定です。なお、当日使用する決算説明資料は、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「すべての産業の新たな姿をつくる。」「テクノロジーとビジネスを、つなぐ。」をミッションに掲げ、各業界の代表的な企業との協働を通し、企業や産業、そして社会の長期的・本質的な構造転換に貢献することを目指しております。

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済環境は、景気が緩やかに持ち直されてきている一方で、米国による追加関税及び対イランの軍事行動の動きや国内外マクロ経済におけるインフレ・金融引き締め、継続的な物価上昇等の結果、金融市場や景気動向は先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループが属する国内AIソリューション市場においては、「ChatGPT」をはじめとする大規模言語モデルの技術革新の進捗や自律的に業務を遂行するAIエージェントに関する社会的関心の高まりなどの結果、企業の競争力強化や人材不足への対応から幅広い産業で積極的なDX（デジタルトランスフォーメーション）投資が行われており、事業環境は堅調に推移しております。

(売上高)

売上高の主要な割合を占めるカスタムAIソリューション事業において、堅調な顧客のDX投資需要を捉え順調に進捗しました。営業活動が順調に進捗したことで新規顧客獲得件数は4件となり、第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期を38.8%上回るかたちとなりました。第3四半期単独の売上高は第2四半期と比較するとやや軟調な着地となりましたが、これは3月決算の顧客企業が多いことから、第3四半期が顧客の体制変更・人事異動等と重なったことにより、プロジェクトが立ち上がるまで時間を要したこと、5月の大型連休により、プロジェクト稼働が限定的であったことに起因しており、期初計画の通りの着地であり、事業は順調に進捗しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,911,885千円（前年同期比+38.8%）となりました。

(売上原価、売上総利益)

売上原価は608,594千円（前年同期比+40.5%）となりました。主な内訳は、労務費及び業務委託料であります。

以上の結果、売上総利益は1,303,291千円（前年同期比+38.1%）となりました。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

販売費及び一般管理費は1,057,360千円（前年同期比+30.3%）となりました。これは主に、カスタムAIソリューション事業において、プロジェクトの推進を担うソリューションデザイナー及びエージェントトランスフォーメーションプロデューサー、エンジニアの人件費及び研修採用費が主要な構成を占めております。

以上の結果、営業利益は245,931千円（前年同期比+85.7%）となりました。

(営業外損益、経常利益)

営業外収益は4,054千円、営業外費用は10千円となりました。

以上の結果、経常利益は249,974千円（前年同期比+93.8%）となりました。

(特別損益、親会社株主に帰属する四半期純利益)

当第3四半期連結累計期間の特別損益はありません。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は249,974千円となり、法人税等を73,904千円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は176,069千円（前年同期比+150.0%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①カスタムAIソリューション事業

第3四半期は、堅調な顧客のDX投資需要を捉え、営業活動が順調に進捗した結果、4件の新規顧客を獲得しました。第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比較すると37.6%増加しております。一方で第3四半期単独の売上高は第2四半期と比較するとやや軟調な着地となりました。これは、複数の顧客企業が4月に期初を迎えることから、顧客企業の体制変更等により受注プロジェクトの端境期が発生しやすいこと、5月は大型連休により稼働日数が減少すること等を受け、プロジェクトの執行を担うソリューションデザイナー及びエージェントトランスフォーメーションプロデューサー、エンジニアの稼働率が低下したことによるものでありますが、期初計画の段階であらかじめ想定していた範囲内であり、事業は順調な進捗となっております。

コストについては、採用活動の進展により人員数が増加し、引き続き人件費及び研修採用費がコストの主要な

構成を占めております。

以上の結果、売上高は1,884,667千円（前年同期比+37.6%）、営業利益は248,998千円（前年同期比+35.3%）となりました。

②システム開発事業

第3四半期は4-6月に検収を迎える受注案件が少なかったことから収益貢献が限定的であった一方、当社がHP経由で受けた開発プロジェクトに関する問い合わせで、システム開発色の強い引き合いを株式会社CAGLAに連携することで、新規顧客の獲得につながりました。加えて、株式会社CAGLA単独の営業活動も進捗したことで、第3四半期の新規顧客は2件となりました。

プロジェクトの推進に必要なデベロッパーやデザイナー等の人件費がコストの主要な構成を占めているとともに、のれん償却等も計上しております。

以上の結果、売上高は58,768千円、営業損失は3,966千円となりました。システム開発事業は2025年9月期第3四半期より連結となったため、2025年9月期第3四半期累計実績は第3四半期分のみ計上しております。そのため対前年増減率については記載しておりません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は3,023,967千円となり、前連結会計年度末より210,645千円増加しました。流動資産は2,857,161千円となり、固定資産は166,805千円となりました。流動資産の主な内訳は、現金及び預金2,321,427千円、売掛金及び契約資産500,144千円であります。固定資産の内訳は有形固定資産60,799千円、投資その他の資産41,920千円であります。前連結会計年度末から重要な変動はありません。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は288,980千円となり、前連結会計年度末より23,606千円増加しました。流動負債は288,980千円となります。流動負債の主な内訳は、賞与引当金49,951千円、未払法人税等47,086千円であり、前連結会計年度末からの主な変動要因は、賞与引当金の増加であります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,734,986千円となり、前連結会計年度末より187,039千円増加しました。主な内訳は、資本金1,019,666千円、資本剰余金1,009,666千円、利益剰余金705,382千円であり、前連結会計年度末からの主な変動要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月12日に開示をいたしました2026年9月期の連結業績予想につきまして修正いたします。

売上高及び営業利益の見込につきましては、その主要な構成はカスタムAIソリューション事業によるものとなっております。当事業において、顧客の堅調なDX需要を捉え、営業活動が順調に進捗したことで、新規顧客件数は第3四半期累計で12社となるとともに、売上が堅調に推移しました。これにより、売上高は2025年11月12日の予想を4%上回る見込となっております。また、積極的な生成AI活用等を通じ、プロジェクトの執行を担うフロントメンバーの業務生産性向上が見られました。この結果、期初想定していた採用・体制拡大の必要性よりも少ない人員数でも同様の売上達成が見込まれるため、コストの大宗を占める人件費および採用研修費が期初計画を下回る見込です。これにより、営業利益は2025年11月12日の予想を29%上回る見込となっております。

なお、システム開発事業につきましては、売上高/営業利益は2025年11月12日の予想から大きく乖離することはないと見込しております。

経常利益、当期純利益につきましては、上記の通り営業利益が期初想定を上回る形で進捗したことに伴い、2025年11月12日の予想を上回る見込となっております。

以上を踏まえ、当社グループの2026年9月期の業績予想につきましては、以下を見込んでおります。

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
2026年9月期 予想(2026年8 月13日時点)	百万円 2,578	百万円 1,774	百万円 380	百万円 384	百万円 268	円 銭 16.85

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性がございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,048,825	2,321,427
売掛金及び契約資産	552,508	500,144
仕掛品	1,905	4,432
その他	20,422	31,156
流動資産合計	2,623,661	2,857,161
固定資産		
有形固定資産	81,105	60,799
無形固定資産		
のれん	59,400	53,460
その他	10,287	10,625
無形固定資産合計	69,688	64,086
投資その他の資産	38,866	41,920
固定資産合計	189,660	166,805
資産合計	2,813,321	3,023,967
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,067	12,081
1年内返済予定の長期借入金	1,336	—
未払法人税等	66,315	47,086
賞与引当金	1,128	49,951
その他	173,527	179,861
流動負債合計	265,374	288,980
負債合計	265,374	288,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,014,181	1,019,666
資本剰余金	1,004,181	1,009,666
利益剰余金	529,312	705,382
自己株式	△45	△45
株主資本合計	2,547,631	2,734,670
新株予約権	316	316
純資産合計	2,547,947	2,734,986
負債純資産合計	2,813,321	3,023,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,376,943	1,911,885
売上原価	433,231	608,594
売上総利益	943,712	1,303,291
販売費及び一般管理費	811,300	1,057,360
営業利益	132,412	245,931
営業外収益		
受取利息	1,174	3,248
その他	530	806
営業外収益合計	1,704	4,054
営業外費用		
支払利息	10	10
持分法による投資損失	5,087	—
その他	44	—
営業外費用合計	5,141	10
経常利益	128,975	249,974
税金等調整前四半期純利益	128,975	249,974
法人税、住民税及び事業税	66,780	77,775
法人税等調整額	△8,235	△3,871
法人税等合計	58,545	73,904
四半期純利益	70,429	176,069
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,429	176,069

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	70,429	176,069
四半期包括利益	70,429	176,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,429	176,069

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれん、顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額、顧客関連資産の償却額は、次のとおりであります

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	19,722千円	34,784千円
のれんの償却額	1,980千円	5,940千円
顧客関連資産の償却額	372千円	1,117千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	カスタムAIソリューション事業	システム開発事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,370,096	6,847	1,376,943	—	1,376,943
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,370,096	6,847	1,376,943	—	1,376,943
セグメント利益又は損失(△)	183,993	△51,581	132,412	—	132,412

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	カスタムAIソリューション事業	システム開発事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,884,667	27,218	1,911,885	—	1,911,885
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	31,550	31,550	△31,550	—
計	1,884,667	58,768	1,943,435	△31,550	1,911,885
セグメント利益又は損失(△)	248,998	△3,966	245,031	900	245,931

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△31,550千円は、セグメント間取引消去△31,550千円であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額900千円は、セグメント間取引消去900千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。